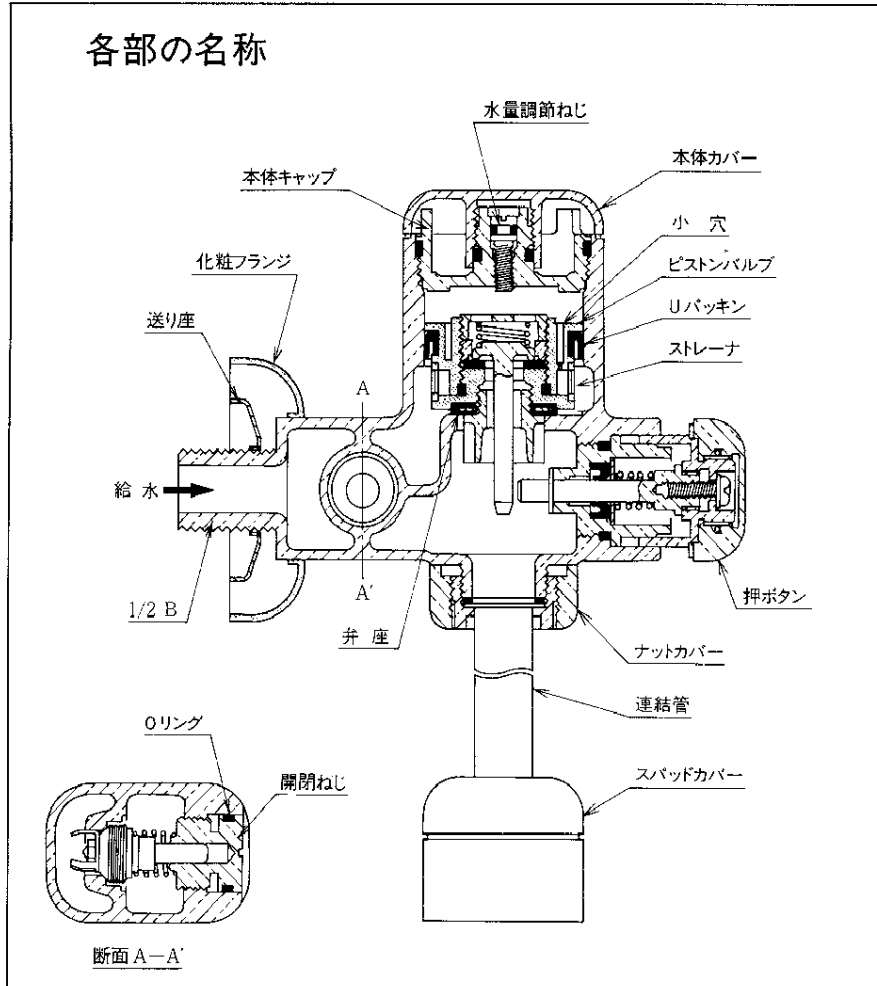


# EVASION

## フラッシュバルブ(小便器用)取付説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この取付説明書の内容にそって正しく取付けてください。



### 使用条件

#### ●使用水圧

最低必要圧力……0.7kg f/cm<sup>2</sup>

最高圧力……7.0kg f/cm<sup>2</sup>

上記範囲外の水圧での使用は、次のような支障がありますので避けてください。

※0.7kg f/cm<sup>2</sup>以下では、作動が不確実になるばかりでなく、便器洗浄に必要な水勢が得られません。

※7.0kg f/cm<sup>2</sup>以上では故障の原因となります。

#### ●給水管の端面は壁仕上り面と面一となるように配管してください。

# 器具の取付

## 1. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ・砂などを完全に洗い流してください。

## 2. 本体の取付け

フラッシュバルブ本体は垂直に(本体カバーが上になるように)取付けてください。横向きになると正常な機能を発揮しないことがあります。

(1) 開閉ねじをねじ込み、化粧フランジを手前にずらす。

(2) 送り座を手前にずらし、本体のスパナ掛りを利用して給水管にねじ込む。

このとき、壁面から本体心の寸法を $75 \pm 5$  mmの範囲で小便器の接続に合わせて取付けてください。

(3) 送り座を壁面に締付けた後化粧フランジを壁面に押し当てる。

(4) 図のL寸法を実測し、L寸法より6 mm短くなるように連結管を切断してください。

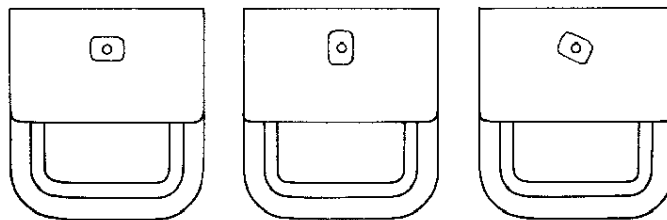
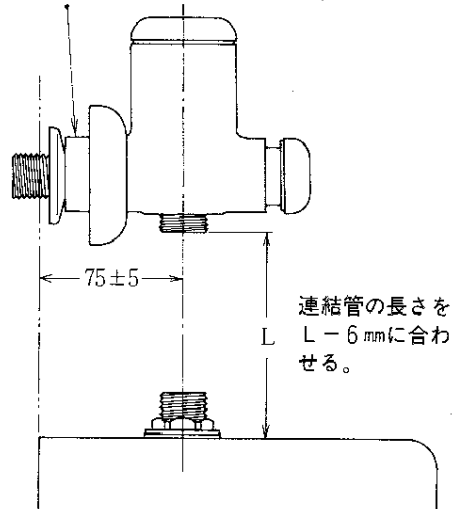
(5) スパッドを緩めて傾け、連結管を差込んで本体側を固定した後、ナットカバーを手締めする。

(6) 緩めたスパッドを固定して連結管を接続した後、スパッドカバーをセットする。

注：① 本体カバー・ナットカバーにはスパナを掛けず手で締付けてください。

② スパッドカバーをセットするとき、方向性に注意し傾きのないようにセットしてください。

この部分をスパナでつかむ。  
(傷がつかないように注意のこと)



## 水勢の調節

水圧の高低によって水勢が変わります。

水勢が強すぎると水飛びを生じたり、洗浄音が高くなったりします。

また水勢が弱すぎると十分な洗浄ができませんので、次の要領で水勢の調節を行ってください。

※開閉ねじによって水勢の調節を行いません。

右回転——水勢が弱まります。 左回転——水勢が強まります。

注：左に回すとき、回しすぎると水漏れしたり開閉ねじが抜けたりしますので、Oリングが本体から出ない程度にとどめてください。

調節が可能な範囲は全閉状態から3回転程度までです。

## 吐水量の調節

洗浄状態を確認して吐水量の調節が必要なときは、次の要領で調節を行ってください。

※本体カバーを取外し、水量調節ねじによって行います。

右回転——吐水量が減少します。 左回転——吐水量が増加します。

注：調節が可能な範囲は、最大のねじ込み状態より3回転程度までです。

調節が終わったら、本体カバーを手で十分に締付けてください。

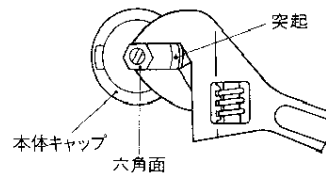
## ストレーナ及び小穴の掃除

水が止まらなくなったり、吐水量の調節ができない場合は、次の要領でストレーナ及び小穴の掃除をしてください。

- ストレーナは柔らかいブラシなどで掃除してください。
- 小穴は0.3mm程度の細い針金で掃除してください。(荷札の針金など)

※本体キャップの取外し・取付け

六角面と突起の両方にスパナを掛けて回してください。取付けは、容易に緩められる程度に、かるく締付けてください。



注：ピストンバルブを収めるときは、Uパッキンがめくれぬよう、また弁座に乗り上げないように注意してください。

## お手入れ

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. 常に柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふくこと。ただし樹脂部に付着すると光沢を失うので、付着しないよう十分注意すること。
2. クレンザーやみがき粉など、粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわなどは使用しないこと。
3. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないこと。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐタイル及び器具を十分水洗いすること。